

30-7 教育研究評議会議事概要

日時 平成30年11月21日(水) 13:30~15:25
場所 事務局棟2階会議室
出席者 駒田学長
山本, 鶴岡, 尾西, 加納, 尾藤, 富樫, 野崎, 橋本, 西村, 松田, 堀, 竹井,
伊藤(正), 安食, 樹神, 鶴原, 藤田, 緒方, 畑中, 伊藤(智), 梅川, 神原,
三宅, 綾野
欠席者 吉本, 片山
陪席者 服部監事, 山中監事, 小笠原(教育学部4年生)

◎ 前回議事概要の確認

学長から事前に照会した30-6教育研究評議会議事概要(案)について、資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり、了承された。

I 審議事項

1. 学生支援の基本方針の策定について

野崎副学長から、「資料：審-1」に基づき、学生支援の基本方針を策定する旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。また、学生支援の基本方針の策定を受けて、学生総合支援センターの基本方針も併せて策定する旨の説明があった。

2. その他 なし

II. 役員会報告

1. 第15~17回役員会について

企画総務部総務チーム副課長から、平成30年度第15~17回役員会について、「資料：役-1, 参考資料1~3」に基づき、報告があった。

III. その他報告事項

1. 学内共同教育研究施設等における教員の後任補充について

学長から、保健管理センター教員の後任補充についての報告があった。

2. 平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果について

尾西理事から、「資料：報-1-1~1-3」に基づき、平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果についての報告があった。

3. 給与改定の方針について(資料：報-2)

尾藤理事から、「資料：報-2」に基づき、人事院勧告を踏まえた、本学における給与改定の方針についての報告があった。

4. 平成31年度科研費の応募状況(秋公募)について

鶴岡理事から、「資料：報-3」に基づき、平成31年度科研費の応募状況(秋公募)及び科研費非保有教員の申請率についての報告があった。

5. COC+に係る報告

富樫副学長から、「資料：報-4」に基づき、平成30年度第6回地域創発部門会議における協議事項等についての報告があった。

◇主な意見

○単位互換の単位認定について、科目を開設した教育機関で学生の成績を出して、学生が所属する教育機関で単位を認定するという方法になると、例えば、他の教育機関の学生が三重大学で免許教科を履修して三重大学が成績を出しても、学生の所属する教育機関での課程認定を受けていないので、結局免許を取れないことになる。この場合、三重大学でも単位で学生の学力の証明を出さないと免許の資格に当てはまらないということがあるので、そういったことも含めて、成績の出し方について検討していただきたい。

6. 情報セキュリティ対策機能向上 取組報告（資料：報-5）

加納理事から、「資料：報-5」に基づき、情報セキュリティ対策機能向上に向けた取組についての報告があった。

7. 大学ICT推進協議会 著作権法第35条改正に関するシンポジウム 報告（10月26日）

加納理事から、「資料：報-6-1」に基づき、著作権法第35条改正に関するシンポジウムについての報告があった。また、「資料：報-6-2」に基づき、改正著作権法の「授業目的公衆送信補償金制度」についての情報提供があった。

◇主な意見

○海外の論文の図や写真といった著作物を使用する場合にも対応されるのか。

→そのとおりである。当該指定管理団体が海外に対しても対応することである。

○Moodleを使った授業で、次の授業で使うスライドを学生に事前に見ておくように指示する場合があるが、そういった場合も授業時間外になるのか。

→講義をしている時間ではないので、同時公衆送信ではなく異時公衆送信に当たる。今回の法改正により、授業目的の公衆送信は、無許諾の範囲になっている。

○附属学校もあるが、全国の小中高校の全生徒も一人当たりの額を支払うことになるのか。

→そのとおりである。ガイドラインが出ないとわからないが、もしかすると小学校に対しては安い金額に設定される可能性もある。

○使用するコンテンツの多寡には拠らないのか。

→そのとおりである。使用量は関係なく、生徒一人当たりの額とのことである。

○集めた補償金はどうやって著作権者に支払われることになっているのか。

→極力探し出して支払うとのことだが、支払えなかった場合は訴訟対応のための費用としてプールされるとのことである。

8. アカデミックフェア2019について（資料：報-7）

野崎副学長から、「資料：報-7」に基づき、アカデミックフェア2019についての報告があった。

9. 環境マネジメントシステム（ISO 14001）の継続審査について

加納理事から、「資料：報-8」に基づき、環境マネジメントシステム（ISO 14001）の継続審査についての報告があった。

10. 平成30年度公的研究費コンプライアンス教育e-learning受講状況について

財務部長から、「資料：報-9」に基づき、平成30年度公的研究費コンプライアンス教育e-learningの受講状況についての報告があった。また、加納理事から、平成30年度情報セキュリティ教育e-learningの受講状況についての報告があった。

11. 教養教育授業経費に係る事項についての確認と提案について

教養教育院長から、「資料：報-10」に基づき、10月4日の大学戦略会議において説明のあった教養教育授業経費に係る事項について、教育担当理事からの調整案を受け入れた旨の報告があった。

◇主な意見

- 各部局の予算に関することは各部局の専権事項であるが、他部局に影響が及ぶ場合は、事前に了解を得てから予算の変更をしていただきたい。今回、部局間調整が必要となり、評議会の議題となっている。また、教養教育は、各学部が教員を出し、協力して成り立っている。
- どのような教養教育をするかということについて、教養教育院は学部の意見や要望を積極的に聞いていると思うが、学部の方ももっと積極的に要望を投げかけるようにすれば、より良い教養教育ができると思う。
 - 学部の協力なくしては、教養教育は行えないので、こちらからいろいろなことでお願いし、また、意見も伺って、より良い教養教育ができるようにしたいと思う。ただ、教養教育院も、予算を切り詰められるところは徹底的に切り詰めている状況であることはご理解いただきたい。
- 教養教育の在り方も大事だが、どういう教養教育を行うかということも極めて大事で、常に社会が変化している以上、教養教育が行うべき内容も変化、進化していくべきだと思う。

12. その他

- ①第6回三重大学・皇學館大学合同シンポジウムについて
尾西理事から、12月16日に第6回三重大学・皇學館大学合同シンポジウムを開催する旨の紹介があった。
- ②「大学ガバナンスから見た教育改革」に係る意見交換について
山本理事から、12月13日に「大学ガバナンスから見た教育改革」に係る意見交換を開催する旨の連絡があった。

以 上